

[岩手県野田村 野田村保育所再建事業]
新たな保育所を安心できる高台に
新築工事の地鎮祭が執り行われました

4月11日、新しい野田村保育所建設の地鎮祭が行われました。これは、公益財団法人ヤマト福祉財団(本部：東京都中央区、理事長：有富 慶二、以下ヤマト福祉財団)「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」の第2次助成先の一つである社会福祉法人野田村保育会が、助成金2億8000万円を活用して進める事業です。

“園児84人奇跡の脱出”と新聞にも取り上げられた野田村保育所。しかし、施設は津波に破壊され、現在は村の瓦礫置き場に…。復興に励む保護者が子どもを安心してあずけられる保育所の再建は早急な課題ですが、移転となると原形復旧が原則の国の補助はつかないため、野田村ではヤマト福祉財団に助成申請を行いました。

地鎮祭で社会福祉法人野田村保育会の岩岡吉比古理事長は「村の未来を担う子どもたちを笑顔で伸び伸びと育てられる施設が1日も早く完成することを願っています」と挨拶。また、小田祐土村長は「住民はこの着工で、村の復旧復興が目に見える形で進んでいることを理解でき、復興へのさらなる励みとなると思います」と野田村復興のシンボルとしても新保育所が機能することを期待しています。



新しい保育所は、以前より約1km内陸に入った17m以上の高台に移転。敷地・建物の規模も広くなり、照明設備なども工夫・充実する計画です。野田村保育所の玉川所長は「新しい保育所は、仮設住宅の近くに建設されます。子どもたちの元気な声が聞こえることで、みなさんの励みになれば」とお話くださいました

- 新保育所
- ・建築面積:981.66㎡／延床面積:856.25㎡
- ・木造平屋建 ・11月完成予定



地鎮祭には約70名の関係者が出席し、新施設の完成を祈願しました



左から鍬入れをする小田村長、有富理事長、岩岡理事長



仮施設は収容人数が少なく、元気な子どもたちには手狭です